

かんきょう観察会報告 No. 170

活動グループ名：板橋区の蝶を調査する会

観察日時：2024年11月3日（日） 午前10時～12時45分

観察地域：西高島平駅～大宮バイパス歩道～荒川笹目橋堤防南斜面～ボート場付近～笹目橋下流河川敷

参加者：柏原、神山、川口、小林、坂本、佐藤、長澤、山下、山田、米澤（計10名）

当日の天気：快晴、気温22℃、風やや強い

観察結果

アガハチョウ科

- ①アゲハ

シロチョウ科

- ①キタキチョウ
- ②モンキチョウ♂♀
- ③モンシロチョウ♂♀

タテハチョウ科

- ①キタテハ
- ②アカボシゴマダラ（幼虫）
- ③ツマグロヒョウモン♂
- ④ヒメアカタテハ（成虫・幼虫）

シジミチョウ科

- ①ウラナミシジミ
- ②クロマダラソテツシジミ
- ③ベニシジミ
- ④ヤマトシジミ

セセリチョウ科

- ①イチモンジセセリ
- ②チャバネセセリ

観察概要

2日（土）が雨のため予備日の今日になりました。風はやや強いものの快晴となりました。

午前10時5分に西高島平駅から出発しました。大宮バイパスの歩道は、セイトカアワダチソウが黄色い花を出し、その周りをヤマトシジミ・キタキチョウ・チャバネセセリが飛んでいました。少し変わったチョウが飛んできました。よく見ると、クロマダラソテツシジミです。今年の9月くらいに赤塚で確認し、板橋区中に広まっているようです。かつては国内には生息しなかったが、温暖化の影響でしょうか？近年九州南部で定着し、ソテツの葉を食草としながら生息地を北に広げているようです。板橋区では2021年に初めて観察されましたが、冬越しはできないようでした。3年ぶりに今年は大発生しているようです。他にエノキの葉にアカボシゴマダラの幼虫と蛹の抜殻、アゲハ・モンシロチョウが観察できました。アカボシゴマダラの終齢幼虫は、今年の11月中旬には蛹となり羽化し成虫となります。もうすぐ冬だというのにこれから成虫になる幼虫がいるとは驚きです。

10時40分に笹目橋の下流堤防南斜面に着きました。気温が上がってきてたくさんの蝶達が飛び回っています。アゲハ・キタキチョウ・モンキチョウ♂♀・モンシロチョウ・キタテハ・ツマグロヒョウモン♂・ヒメアカタテハ・ウラナミシジミ・ベニシジミ・ヤマトシジミ・イチモンジセセリ・チャバネセセリを観察しました。

11時、笹目橋の上流側につきました。ここでは、モンキチョウ・モンシロチョウ・キタテハ・ヒメアカタテハ・ウラナミシジミ・ベニシジミ・ヤマトシジミを観察しました。

ここから、荒川本川のボート場方面に向かって進みました。セイタカアワダチソウが咲いています。この周辺では、キタキチョウ・モンキチョウ・モンシロチョウ・キタテハ・ウラナミシジミ・ベニシジミ・ヤマトシジミ・イチモンジセセリ・チャバネセセリを観察しました。

11時45分、昼食をしながらの観察となりました。キタキチョウ・モンキチョウ・モンシロチョウ・キタテハ・ヒメアカタテハ・チャバネセセリ等が観察出来ました。

12時15分、河川敷内を笹目橋下流方面に帰りながらの観察です。キタキチョウ・モンキチョウ・キタテハ・ヒメアカタテハ・ウラナミシジミ・ヤマトシジミ・チャバネセセリが観察できました。

12時45分解散としましたが、ヨモギの葉にヒメアカタテハの幼虫を観察しました。

今日の観察では14種の蝶が観察できましたが、気温がやや高かったため、蝶の数もたくさん見られました。

なお、笹目橋の下流部は、数年前まではオギ原でした。2年位前から、この場所は草刈りが行われています。オギのままで残しておいてくれば、東京都でも貴重な種になっているギンイチモンジセセリやミヤマチャバネセセリの発生が期待できる場所です。そっとしておいてほしい場所です。

## 2024年11月3日（日）観察写真



アゲハ



モンキチョウ♀



モンシロチョウ



アカボシゴマダラ幼虫



アカボシゴマダラ蛹抜殻



キタテハ



ヒメアカタテハ



ウラナミシジミ



クロマダラソテツシジミ



ベニシジミ



ヤマトシジミ



チャバネセセリ



数年前まではオギ原だった笹目橋下流部